



<泌尿器科>

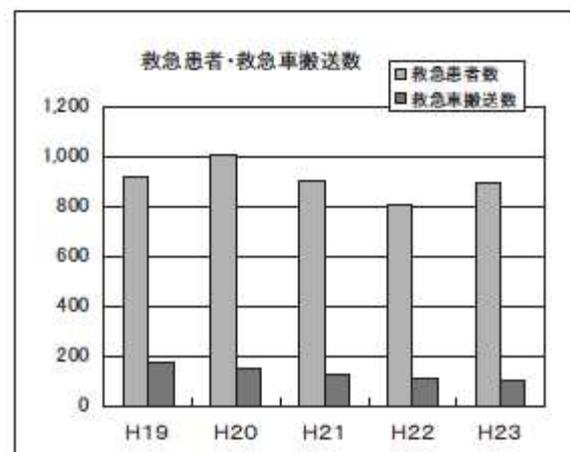
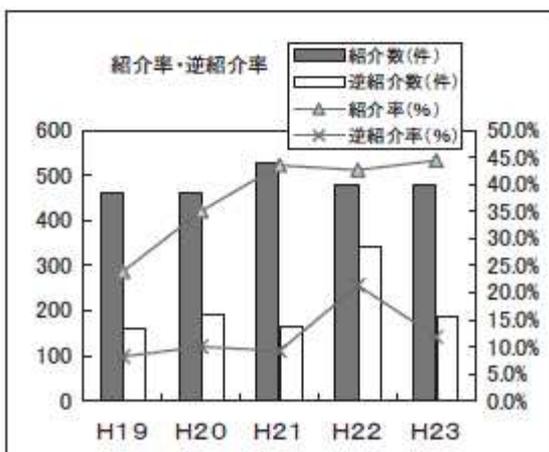
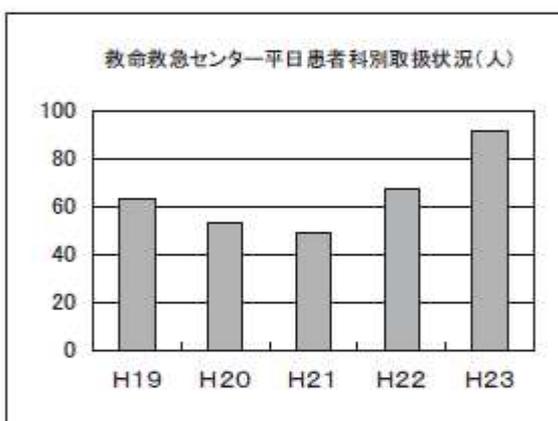
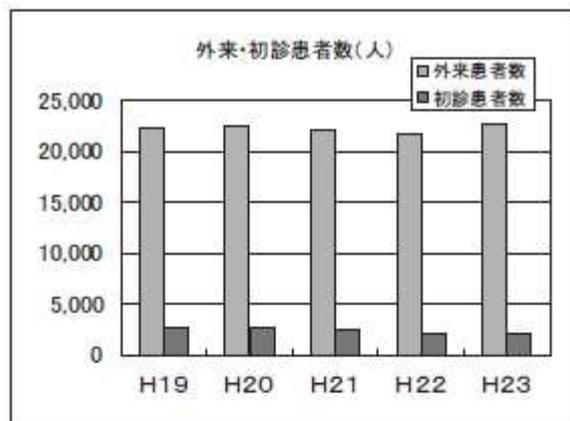
概要

2010 年、当科の体制は黒田和男副部長の退職はあったものの、新たに山本晃之医師が2年の初期研修を終え合流したことにより、長井辰哉部長、田中篤史副部長、荒木英盛副部長、小嶋一平医師の5人体制に変更はなく、地域の中で当科が果たすべき要求にこたえ、高次病院として十分な機能を果たすために、また全国に情報を発信できる病院であるために、日々努力研鑽を行っている。

2007 年に厚生労働省より先進医療当施設認定を受けた内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術は 2008 年には極めて厳しい施設認定基準の下に保険収載された。当科は幸いにもこの施設認定基準を満たし、全国で 20 施設程度しかない保険診療として内視鏡下小切開手術(保険収載手術名は腹腔鏡下小切開泌尿器手術)を行える施設の一つになることができた。現在では認定施設は全国で 69 施設に増加しているが、依然、先駆者として十分なアドバンテージを得ており、すでに同手術の総施行例数は 500 例を超えている。さらにそれまで先進医療からも、保険診療からも外れていた、膀胱癌、後腹膜腫瘍などに対する内視鏡下小切開手術が改めて先進医療になり、当科もその当施設として認定された。2009 年現在、全国で認定施設は未だ 6 施設のみであり、他県からも本手術を希望して当科を受診する患者が絶えない状態である。本手術において当科は全国でも主導的な役割を果たしているが、12 月に東京で行われた第三回日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会において長井は会長として学会を主宰する栄誉を得た。本学会では、加えて前立腺癌ビデオシンポジウムの座長兼演者、会長講演の演者としても講演を行った。同学会では加えて、田中副部長が、腎尿管全摘術のパネルディスカッションでのパネリストを、荒木副部長が腎部分切除のシンポジウムにおいてシンポジストを勤めた。

この一年の実績ということでは入院患者数は実数で 840 人を、のべ患者数は実に 9000 人を超えている。さらに体外衝撃波結石破碎術を除く手術件数は 350 件を超え、しかもその大半は悪性腫瘍に対するものである。この中でも腎癌に対する根治的腎摘除術、腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術、膀胱癌に対する膀胱全摘術、前立腺癌に対する根治的前立腺全摘術などの全身麻酔を要するいわゆる泌尿器科における major surgery は 120 件を超え、年々増加している。特に根治的前立腺全摘術は 49 件を数えている。さらに患者様には小さな傷、少ない出血、早い回復、入院期間の短縮という点で優しいものの、医師には高度な技術を要する小切開手術が 100 件以上を占め、また先進医療に指定されてからは患者様や他院での認知度が格段に上がったこともあり、同手術目的の紹介患者も増加してきているため期待された繁忙の改善はいまだ果たせておらず、手術待ちの期間も最長 3 ヶ月に達する有様で何らかの対策を講じる必要があると思われる。

2009 年1月、体外衝撃波結石破碎装置の買い替えが実現し、新たにドイツ、シーメンス社製の ESWL 装置 LITHOSCOP が稼働した。これにより、問題なしとは言い切れなかった当院での結石治療は格段の進歩を遂げたが、残念ながら看護スタッフの問題から導入後2年を過ぎた現在においても未だに 100%その能力を発揮できずにいる。この点の改善を当科の今年の目標にしたいと考えている。さらに新たな分野として開始した骨盤臓器脱に対するTVM手術は、荒木副部長が中心となり施行しているが当初の我々の予想を遙かに超える患者数に対応できないでいる状態で、やはり予約から手術まで3ヶ月以上の待機をお願いしている。今後も当科の大きな柱にしていきたいと考えている。



業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

学会・研究会発表

1. ビデオ討論(前立腺全摘除)
長井 辰哉
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会第4回学術集会(東京)2011.12.17
2. ビデオ討論副腎摘除
長井辰哉
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会第4回学術集会(東京)2011.12.18
3. 新しい器械や装置を用いた小切開鏡視下前立腺全摘除術
田中篤史、山本晃之、小嶋一平、荒木英盛、長井辰哉
第 99 回日本泌尿器科学会総会(名古屋)2011.4.24
4. 当院における小切開鏡視下前立腺全摘除術の工夫
田中篤史、山本晃之、寺島康浩、荒木英盛、長井辰哉
第3回小切開・鏡視外科学会(東京)2011.11.12
5. ミニマム創腎部分切除の検討
荒木英盛、田中篤史、山本晃之、小嶋一平、長井辰哉
99 回日本泌尿器科学会総会(名古屋)2011.4.23
6. 精巣腫瘍に対するミニマム創内視鏡下経膈アプローチ後腹膜リンパ節郭清の経験
荒木英盛、田中篤史、山本晃之、寺島康浩、長井辰哉
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会第4回学術集会(東京)2011.12.18
7. 進行性腎細胞癌に対する分子標的薬ソラフェニブにおける病理組織学的検討
荒木英盛
腎癌研究会(名古屋)2011.6.11

8. TVM 手術 56 例の初期経験の検討
荒木英盛、田中篤史、山本晃之、寺島康浩、長井辰哉
61 回日本泌尿器科学会中部総会(京都)2011.11.19
9. 後腹膜原発小細胞癌の1例
山本晃之、小嶋一平、荒木英盛、田中篤史、長井辰哉
第 251 回日本泌尿器科学会東海地方会(名古屋)2011.3.13

座長

1. ビデオ討論腎部分切除
長井辰哉
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会第4回学術集会(東京)2011.12.18
2. シンポジウム5泌尿器科小切開(シングルポート手術)2011
長井辰哉
第3回小切開・鏡視外科学会(東京)2011.11.12

講演

1. 前立腺全摘 今求められているもの
長井辰哉
三河泌尿器科セミナー(名古屋)2011.6.11
2. 男性のおしっこの悩み
長井辰哉
市民公開講座豊橋(豊橋)2011.5.21

論文

1. ビデオ討論(前立腺全摘)
長井辰哉、田中篤史、黒田和男、荒木英盛、小嶋一平、山本晃之
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 3,(1)3-8.2011
2. 後腹膜外科の再構築と新たな可能性
長井辰哉
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌 3,(1)81-86.2011

3. 前方腹膜外到達法による小切開鏡視下腎部分切除術
小嶋一平、田中篤史、山本晃之、荒木英盛、長井辰哉
泌尿器外科. (25(1),105-109) 2011
4. 前方腹膜外到達法による小切開鏡視下腎尿管摘除術
田中篤史、山本晃之、小嶋一平、荒木英盛、長井辰哉
日本ミニマム創泌尿器科内視鏡外科学会雑誌 3(1),95~99,2011
5. 当院におけるミニマム創腎部分切除
荒木英盛、長井辰哉、田中篤史、小嶋一平、山本晃之
日本ミニマム創泌尿器科内視鏡外科学会雑誌;vol 3: 157-161.2011

